

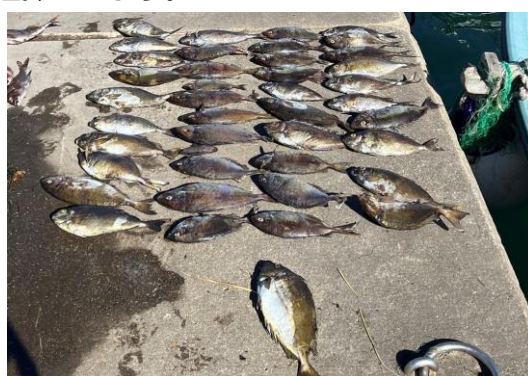
## ●浜の話題

- 11月1日、2日、15日、16日、22日、三和漁協城ヶ島地区の漁業者が、藻類を食害するアイゴの捕獲操業を行いました。活性の落ちる時期なのか、捕獲尾数は少なめでした。ブダイなども混じり、食害が懸念されることから、漁業者たちは引き続き作業を実施するとのことでした。



アイゴにタカノハダイやブダイが混じりました

- 11月15日、漁業士認定委員会が横浜市内で開催され、5名の候補者の漁業士としての適格性が審査されました。(山田)
- 11月19日と23日、長井町漁協養殖ワカメ部会では、種挿し前のワカメ養殖筏周辺で、刺網によるアイゴ駆除を実施しました。既に養殖筏周辺に食害防止の囲い網を設置しておりますが、養殖筏周辺の2回の操業で100尾余りのアイゴ20-30cmのアイゴを駆除できたそうです。今後、更にアイゴを駆除してから、12月中旬以降、親縄にワカメを種挿しします。



刺網で捕獲されたアイゴ

- 11月中旬～下旬にかけて、小坪と長井地区の沖出しワカメ種苗は肉眼で見えるようになり、11月29～12月5日にかけて両地区共に種挿ししました。



長井(左)と小坪(右)のワカメ種苗

ワカメ種挿しの様子

- 11月13日、小田原市漁協青年部はアカモク増養殖試験を開始しました。昨年に続く2年目の試みで、今年度は収穫するだけでなく、成熟したものの一部を母藻として移植する計画です。





アカモク種苗が挿された養殖ロープ



養殖ロープ設置作業の様子

○ 11月14、29日、平塚市漁協は、漁港を活用した藻場造成によるCO<sub>2</sub>固定の実証実験として、平塚漁港内でカジメ、アカモク及びコンブの養殖を開始しました。成長に伴う二酸化炭素の吸収を期待しています。



延縄に植えたカジメ

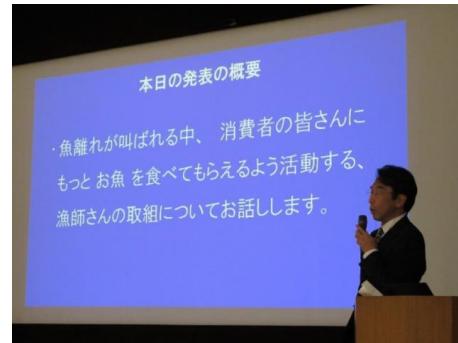


延縄に植えたアカモク

○ 11月16日、県水産技術センターは、かながわ県民センターにおいて、取り組んでいる研究活動を多くの方々に知っていただく機会として、「かながわの水産を考える」と題した研究発表会を開催しました。国立研究開発法人海洋研究開発機構の主任研究員をお招きしての特別講演「黒潮大蛇行の長期化による神奈川県の水産や環境への影響について」のほか、所員から研究・普及活動に係る4課題の発表が行われました。



特別講演



魚食普及の取り組み紹介

○ 11月16日、小田原藻場再生活動組織は増えすぎたウニの生息密度を適正に戻すため、ウニ駆除活動を実施しました。漁業者やダイバーなどが参加し、3千個を超えるウニが駆除されました。母藻礁の設置と並行して実施することで、藻場の再生に期待したいところです。



ウニ駆除活動の様子



潰されたウニを捕食する小魚

- 11月19日、大磯二宮漁協は、二宮町生涯学習センターにおいて開催された第25回湘南にのみやふるさとまつりに出展し、しらすや干物等の加工品を販売しました。また、二宮の定置網で漁獲されたサバを使ったフィッシュバーガーを二宮町商工会が販売しました。



加工品の説明をする、しらす漁業者(春一丸)



商工会のフィッシュバーガー

- 11月28日、平塚市漁協の杉山副組合長(丸八丸)は、神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会の取組みに尽力したとして、全国漁業協同組合連合会から漁業振興功績者表彰を受けました。おめでとうございます。
- 11月29日、神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会は、鎌倉のホテルにおいて、研修会を開催しました。北海道大学の教授をお招きし、漁具漁網解析システムについてご講演いただきました。想像するしかなかった海中での網の動きを数値解析で把握できる技術について、期待をもって活発な意見交換がなされました。また、会員内の漁業者グループが、昨年度に水産業のスマート化推進支援事業による助成を受け設置した高性能のソナーで得られた画像と漁獲状況について、会員と情報共有及び分析を行いました。



解析システムについて意見交換

- 11月29日、横須賀市東部漁協にお世話いただいた北海道産のコンブ種系が新安浦漁港で注文のあった各漁協へ配布されました。横須賀支所漁業者は早速仮沖出ししていました。



受け取った種系と親縄に刺す漁業者



- 11月29日、神奈川県森林協会の広報誌「緑の斜面81号」に、伐採木を活用したアオリイカ産卵礁設置の取組みが掲載されました。今年5月に三和漁協上宮田・城ヶ島支所所属漁業者が県横須賀三浦地域県政総合センター地域農政推進課を通じて入手した伐採木を活用して産卵礁を作成し、アオリイカ繁殖のための一助となりました。山と海が連携したこの取組みは、相模湾側の長井、大楠、葉山、小坪地区でも実施されており、磯焼けにより産卵基質の海藻類が減少する中、山の伐採木が海の森、産卵礁として活躍しています。

「緑の斜面81号」 <https://www.kork.com/news.php?y=2023&m=11&id=1701149190>



伐採木を活用した産卵礁



産卵礁に産み付けられたアオリイカの卵塊

- 12月、大磯二宮漁協は、組合自営で小型定置網漁業をはじめます。年内の操業開始に向け、現在、網の張り建て作業を行っており、水中ドローンを活用して海中での設置状態を確認しています。



水中ドローン

- 12月9日、県水産課は、神奈川県民ホールにおいて、神奈川県漁業協同組合連合会と共催で、漁業就業セミナーを開催しました。第1部の講演では、大磯の定置網漁業者（湘南定置）が、定置網漁業における操業や日常を紹介しました。第2部のマッチング会では、江の島漁業株式会社、有限会社湘南定置、有限会社福浦定置網及び運海丸（福浦漁協）が出展し、来場者の就業相談を受けました。



定置網漁業者による講演



就業相談

- 12月10日、江の島片瀬漁協は、水産多面的機能発揮対策事業の江の島・フィッシャーメンズ・プロジェクト（EFP）による活動で、陸上で育成したカジメの株を食害防止カゴに収めて海中に設置しました。カジメの株は、EFPに参画する新江ノ島水族館が浮遊培養で育成をしました。今後、この株が成熟し、母藻となって、藻場が回復することを期待しています。



浮遊培養(新江ノ島水族館提供)



海中に設置したカジメ(EFP 提供)

## ● お知らせ

### ① 新春漁業者交流大会について

県漁連、神奈川県漁業士会、県の共催による新春漁業者交流大会を次のとおり開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。(参加申込不要、当日受付でございます)

また同日、15時15分より、漁業士通常総会が開催されます。当日は、役員改選もあるので、漁業士会員及び関係者の皆さまは、お集まり下さい。

「新春漁業者交流大会」

日 時：令和6年1月9日(火) 13:00~15:00

場 所：かながわ県民センターホール(横浜駅西口徒歩5分)

「漁業士通常総会」

日 時：令和6年1月9日(火) 15:15~

場 所：かながわ県民センターホール

### ② 令和5年度漁業の人材確保・定着に向けたセミナーの開催について

県水産課は来年1月から2月に漁業協同組合や漁業経営者の方を対象として、漁業の人材確保・定着に向けたセミナーを開催します。日時等の詳細が決まりましたら、参加申込みの御連絡をしますので、是非御参加ください。(問)水産企画グループ 須山 045-210-4542